

## 若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

### 溶接学会九州支部 第2回若手グループ研究会・見学会共催の報告 若手会員の会運営委員, 溶接学会九州支部若手グループ 北村 貴典 (九州工業大学)

Joint hosting report of the 2nd young researcher group seminar and visitation of

Ariake Works, Hitachi Zosen Corporation

主催：(社)溶接学会九州支部 共催：(社)溶接学会 若手会員の会	14:10～14:50	「Ti-Al 合金 / 鉄鋼接合体における 界面分離現象とその利用」 熊本大学大学院自然科学研究科 マテリアル工学専攻 森園靖浩氏
開催日時：平成22年1月13日(水) 14:00～17:10 14日(木) 9:30～12:30		
開催場所：研究会(1日目)日立造船株式会社有明工場 本館大会議室 (熊本県玉名郡長洲町大字有明1番地) 見学会(2日目)日立造船株式会社有明工場 (熊本県玉名郡長洲町大字有明1番地)	14:50～15:30	「き裂成長履歴推定に基づく大型溶接 構造物の疲労寿命推定」 九州大学大学院工学研究院 海洋システム工学部門 後藤浩二氏
受講料：無料	15:30～15:40	休憩
受講者数：研究会(1日目)：42名 見学会(2日目)：16名	15:40～16:20	「パルス通電加熱ホットワイヤを用いた 超高速 TIG 溶接技術」 広島大学大学院工学研究科 機械システム工学専攻 山本元道氏
プログラム： 第1日目：1月13日(水)		
14:00～14:05 開会挨拶 溶接学会九州支部幹事 九州大学大学院工学研究院 海洋システム工学部門 後藤浩二氏	16:20～17:00	「厚板溶接における残留応力及び水素 拡散シミュレーション」 日立造船株式会社事業・製品開発本部 技術研究所 中谷光良氏
14:05～14:10 歓迎挨拶 日立造船株式会社 機械・インフラ本部 原動機・プロセス機器事業部 原動機統括部 製造部 兼 TPM室 部長 西田孝昭氏	17:00～17:10	閉会挨拶 溶接学会若手会員の会運営委員会 委員長 広島大学大学院工学研究科 機械システム工学専攻 山本元道氏

第2日目：1月14日（木）

9：30～12：30 見学会 日立造船株式会社 有明工場

溶接学会九州支部では、主に九州地区の若手研究者・技術者を対象に、最新の溶接・接合技術や研究成果などに触れていただく機会として、さらには、溶接に携わる若手研究者・技術者の増強、活性化および幅広いネットワーク構築を目的として、「若手グループ研究会・見学会」を開催しています。この度、第2回目の研究会・見学会を、溶接学会若手会員の会との共催により、日立造船 有明工場（熊本県玉名郡）にて開催いたしました。

会場は、初日の研究会は日立造船有明工場内の会議室で行い、第2日目には工場内の見学会も開催しました。また、受講者には「IIW 溶接技術者資格」特認コース履修ポイントおよび「ISO14731 / WES8103 溶接管理技術者」再認証クレジットポイントを発行しています。

初日の研究会では、森園靖浩氏（熊本大学）、後藤浩二氏（九州大学）、山本元道氏（広島大学）、中谷光良氏（日立造船）の合計4件、それぞれのご専門分野について最新トピックを織り交ぜながら聴講者に分かりやすく、興味深い内容のご講演をさせていただきました。出席者は42名にのぼり、講演後の質疑応答も非常に活発な討論が繰り広げられました。

初めて本会合に参加していただいた方も多く、特に非会員の方で、溶接技術に興味を持った方が3名参加され、「有意義な会合であった。」「今後とも若手グループ研究会・見学会に是非参加したい。」「後輩にも参加を促していきたい。」などの感想をいただきました。さらには日立造船有明工場にお勤めの多くの若手技術者にも研究会に参加いただき、本会合の目的でもある溶接に携わる若手技術者の活性化およびネットワーク構築の一助となったものと思っています。

2日目の見学会は16名の参加がありました。最初に日立造船株式会社 中谷光良氏、川原俊氏より、会社概要および有明工場の概要について説明がなされました。その後、会社工場内を見学しました。厚さ190mmを超える鋼板の溶接や、組立後の製品をそのまま熱処理する巨大熱処理炉、750トン級のクレーンなど普段では見る機会のない設備などを見学することができ、有意義な見学会となりました。

本会合は第1回目に引き続いて、九州支部と若手会員の会との共催という形で、単独開催以上に充実した内容の研究会を開催することができました。本会合を通して、地方の製造業活性化を推し進め、若手技術者にとってさらに有意義な会合に発展していくためには、支部と本部若手会員の会との綿密な連携・協力が不可欠と考えております。

最後に、本研究会・見学会開催に際し、準備から当日運営まで多大なご尽力を頂いた西田様、中谷様、安部様、川原様、松嶋様はじめ多くの日立造船株式会社の関係各位に深謝いたします。



図1（1日目 研究会）溶接学会九州支部幹事九州大学 後藤浩二氏より開会挨拶



図2（1日目 研究会）熊本大学 森園靖浩氏によるご講演



図3（2日目 見学会）日立造船株式会社 安部正光氏より工場内設備等のご説明



図4（2日目 見学会）日立造船株式会社 有明工場にて記念撮影